

---

# 吹田市下水道事業会計

## 決算の概要

令和2年度（2020年度）

# 概況

---

(1) 下水道使用料に直結する有収水量については、前年度比22万8,712m<sup>3</sup> (0.5%) 増の4,336万5,080m<sup>3</sup>となりました。

(2) 経営状況については、8億6,278万2,805円 (税抜) の純利益を計上しました。

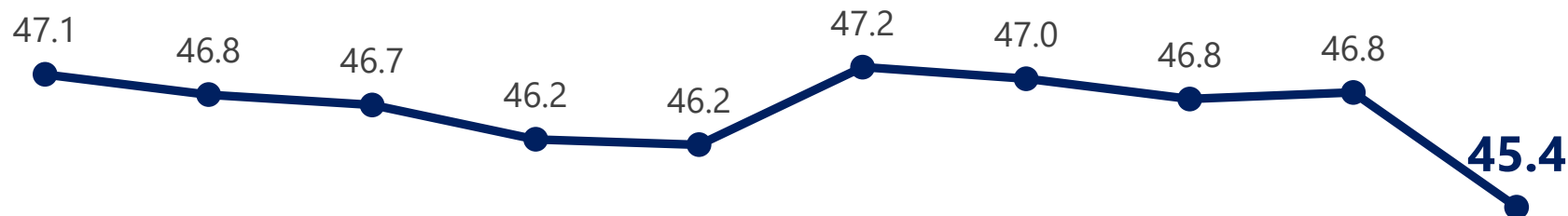
(3) 下水道施設の設備投資については、下記のとおり執行しました。

(税込)

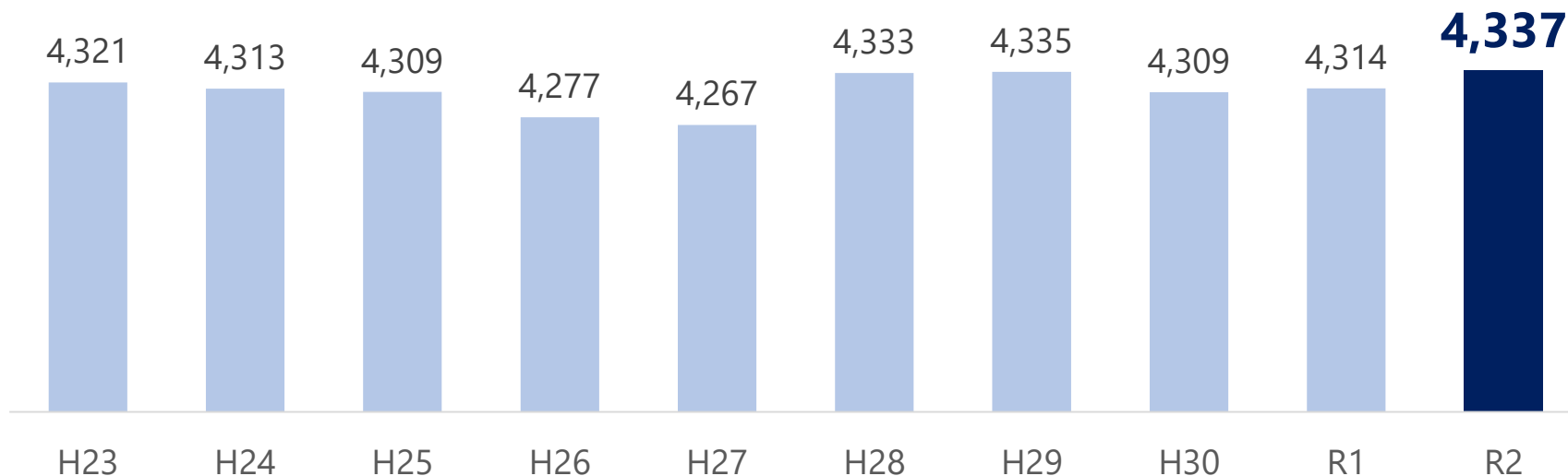
ア	管渠建設改良費	11億9,841万7,140円
イ	ポンプ場建設改良費	3億5,779万6,880円
ウ	処理場建設改良費	1億3,529万7,189円
エ	流域下水道建設費負担金	1億2,158万2,338円

# 下水道使用料と有収水量の推移

下水道使用料（億円・税抜）



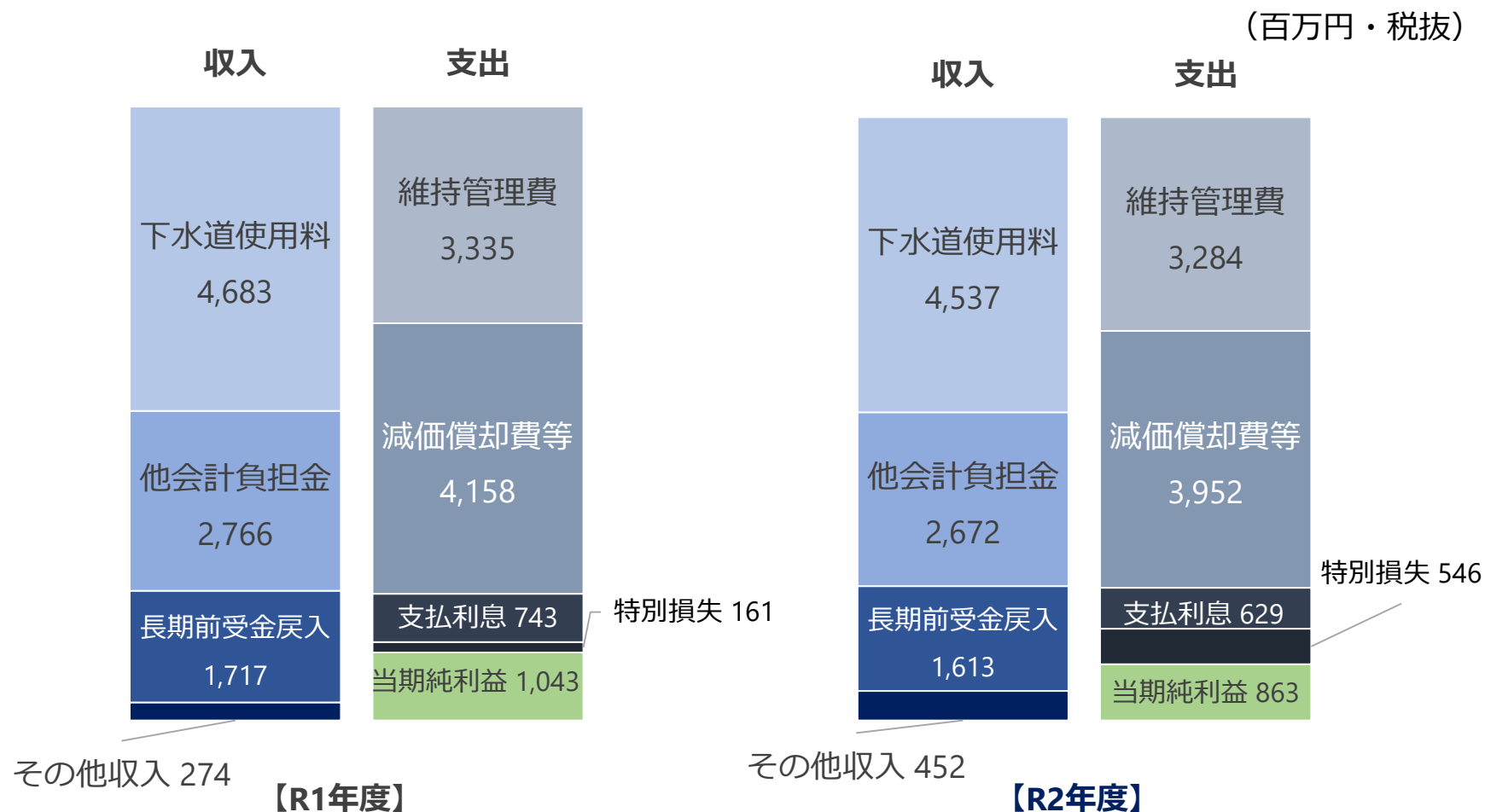
有収水量（万 $\text{m}^3$ ）



市内人口の増加や一般家庭での使用量の増加により、有収水量は増加しています。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、企業等の大量使用者の使用量が減少したため、下水道使用料は減少しています。

# 収益的収支 (損益計算書)

下水道サービスの提供に関する収支状況  
(経営成績)

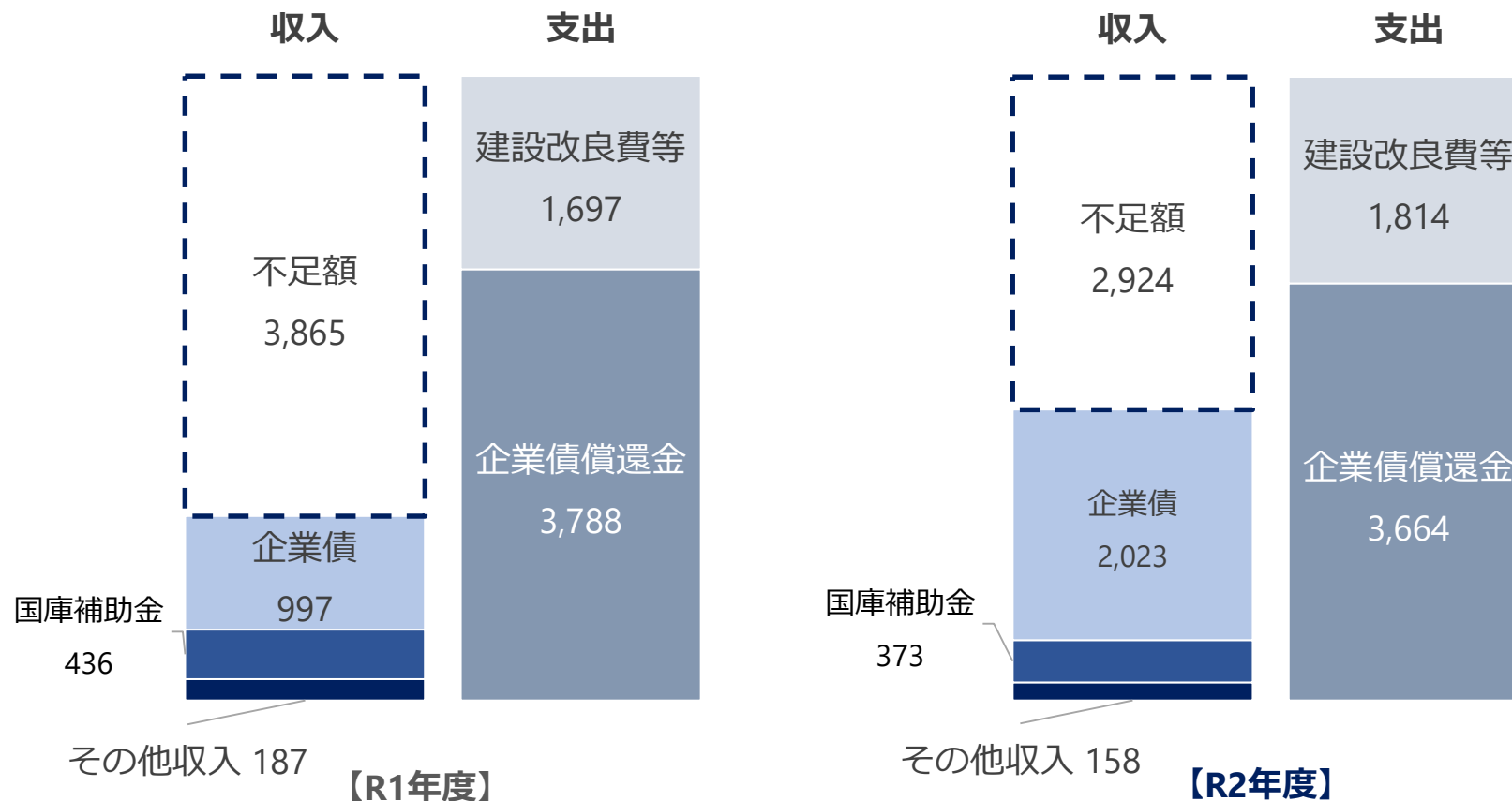


(1) 収入	: 92億7,454万0,590円	前年度比	1億6,551万8,062円 ( 1.8%)	減
(2) 支出	: 84億1,175万7,785円	同	1,420万7,510円 ( 0.2%)	増
(3) 純利益	: 8億6,278万2,805円	同	1億7,972万5,572円 (17.2%)	減

# 資本的収支

下水道施設の設備投資に関する収支状況

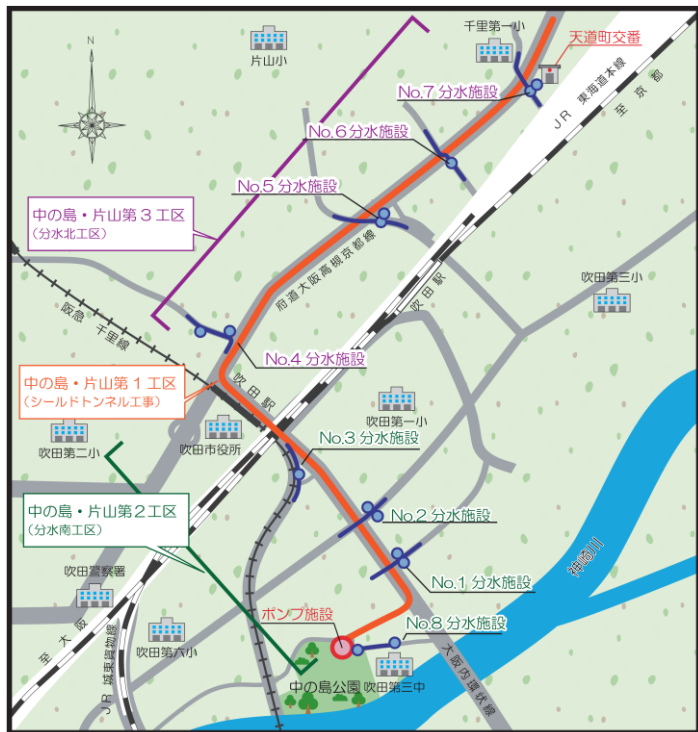
(百万円・税込)



- (1) 収入：25億5,444万1,559円
- (2) 支出：54億7,846万9,567円
- (3) 不足額：29億2,402万8,008円

※損益勘定留保資金などにより補てん

### 吹田市公共下水道事業 雨水レベルアップ整備工事中の島・片山工区



工事名	概要	工期
中の島・片山第1工区	雨水レベルアップ管整備 Φ2,800mm、L = 2,700m	H28.9.29 ~ R3.9.30
第2工区	分水施設4か所 (No.4、5、6、7)	R 2.5.29 ~ R5.7.31
第3工区	分水施設4か所 (No.1、2、3、8)	R 2.5.29 ~ R5.9.29

雨水レベルアップ整備は市域南部の浸水を防ぐため雨水レベルアップ管と分水施設を整備します。中の島・片山工区では、中の島公園から天道町交番まで約2,700mの雨水レベルアップ管（内径Φ2,800mm）と8か所の分水施設を整備しており、令和6年度からの供用開始を予定しています。

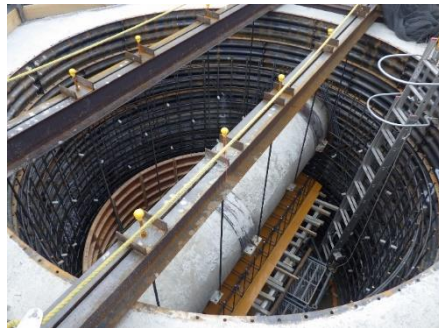
雨水レベルアップ管



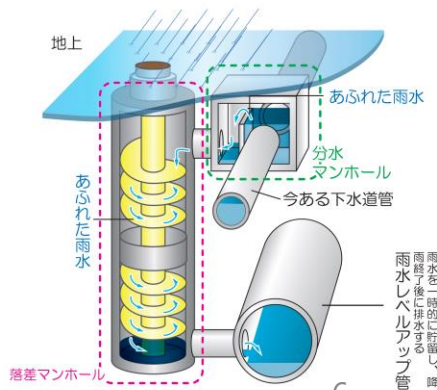
No.5分水施設



No.1分水施設



分水施設（落差マンホール+分水マンホール）



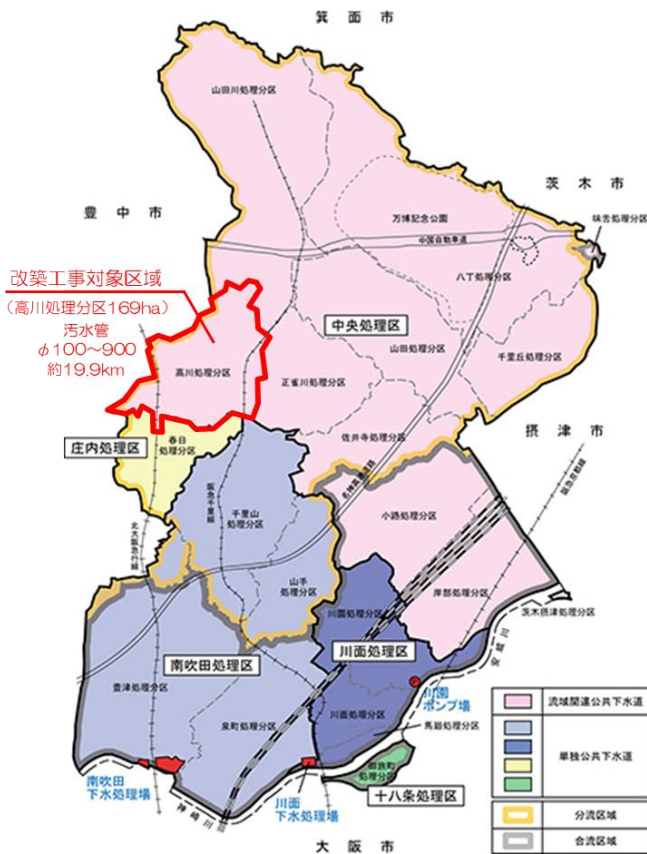
## 吹田市公共下水道事業 高川排水区污水管路改築工事（平成28年度～令和4年度）

令和2年度 第101～107工区（全7工区）

実施延長：4.1km

対象管径：Φ200mm～Φ500mm

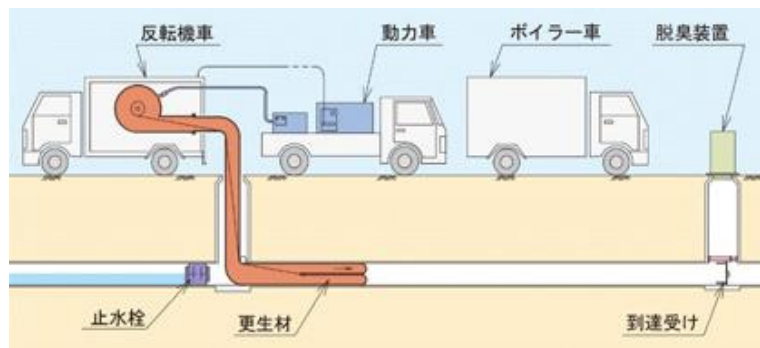
場所：津雲台・竹見台・桃山台・佐竹台



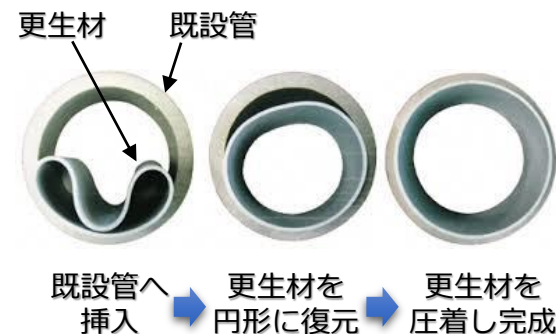
改築工事対象区域位置図

旧正雀処理区（分流污水）の大阪府安威川流域下水道への編入に伴い、高川処理分区の老朽化した污水管路について、下水道長寿命化計画に基づく改築工事を行い、雨天時の浸入水対策を行っています。

道路掘削を伴わず、マンホールから材料を挿入し管内部を更新する「管更生工事」（反転工法・形成工法）を行っています。



管更生工事イメージ図  
(反転工法の例)



既設管内部の更生イメージ図  
(形成工法の例)



### 吹田市川園ポンプ場沈砂池設備工事（平成30年度～令和2年度）

#### 吹田市川園ポンプ場沈砂池機械設備工事



更新前（沈砂掻揚機）



更新後（集砂・揚砂装置）

#### 吹田市川園ポンプ場沈砂池電気設備工事



更新後（コントロールセンター）



更新後（現場操作盤）

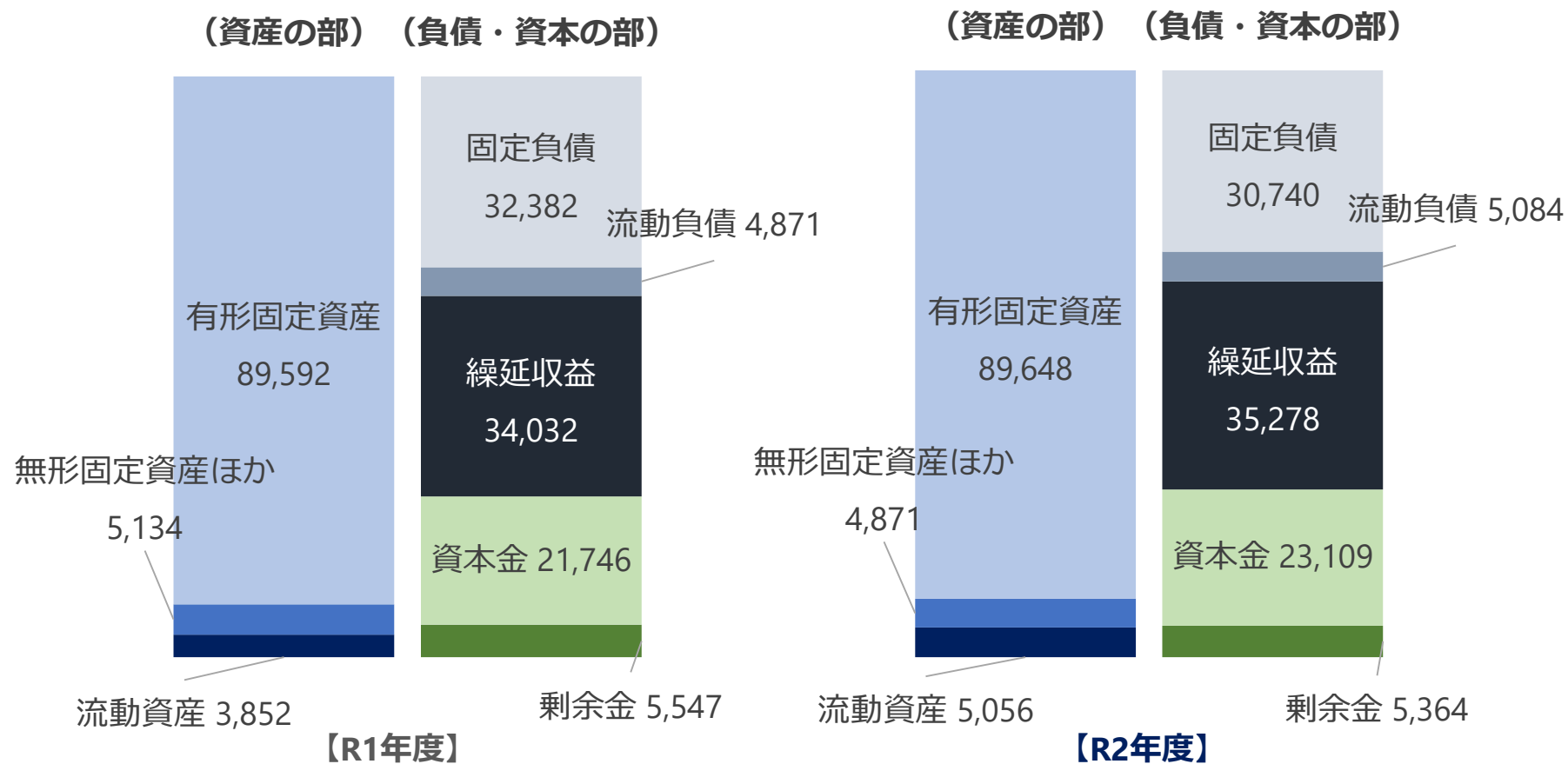
川園ポンプ場の流入下水中のごみ・石・砂等を除去するための沈砂池設備を長寿命化計画に基づき更新しました。



# 貸借対照表

期末時点の保有財産の状態（資金の調達状況、運用状況）

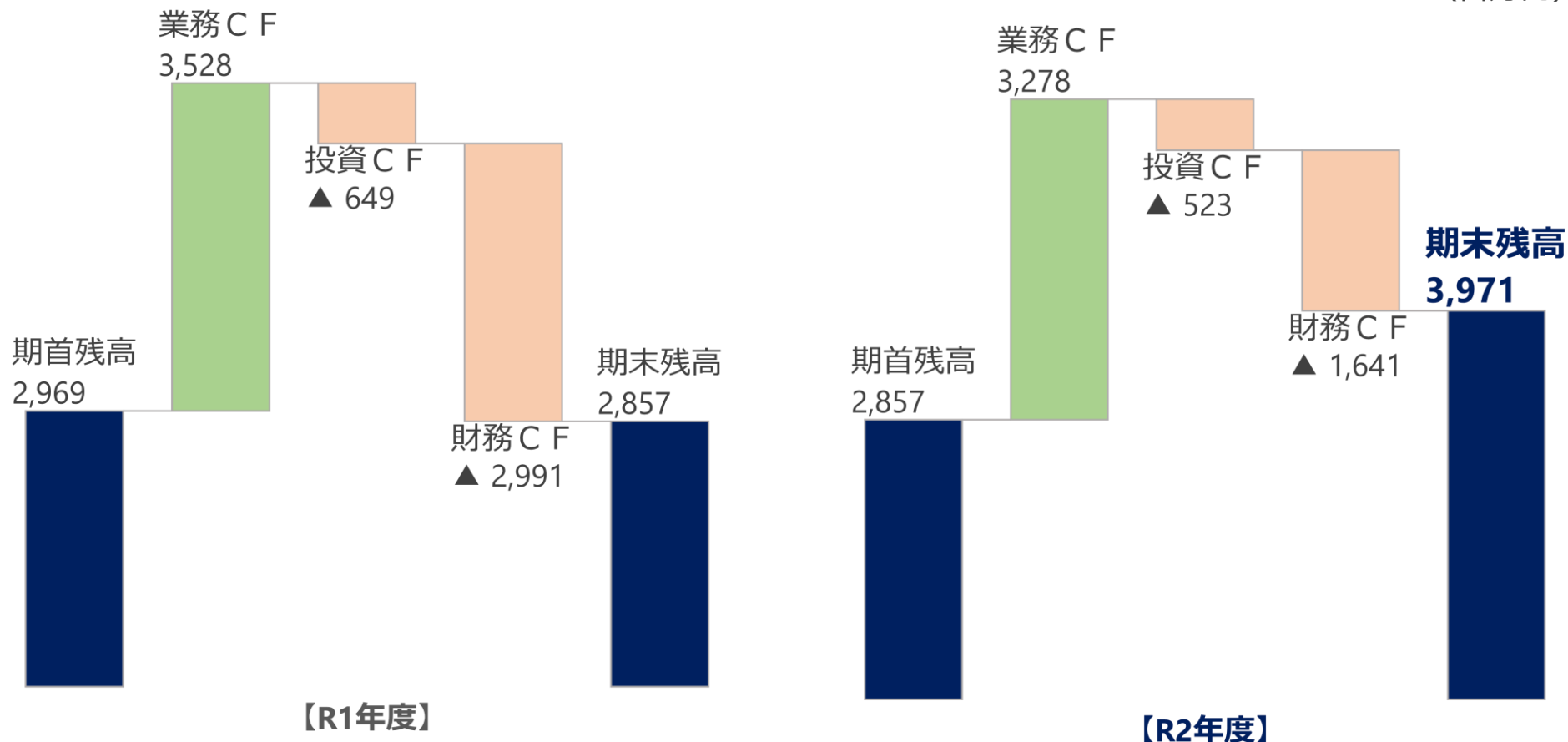
(百万円)



# キャッシュ・フロー計算書

現金の流れ

(百万円)



- (1) 業務CF：本業（下水道の維持管理）の活動による現金の増減
- (2) 投資CF：投資（下水道施設の新設や改築など）による現金の増減
- (3) 財務CF：資金調達（企業債の発行）と返済による現金の増減

# 企業債残高

設備投資の財源として借り入れた借金残高

